

実施方針に関する質問回答

No.	質問項目 (タイトル)	対応箇所						内 容	回 答
		頁	章	節	項	(1)、 (2) など	、 など		
1	対象施設及び対象業務	2	1	2	4	(1)	「機械及び電気設備を対象とし、」と記載されておりますが今回は土木・建築工事等は含まれないのでしょうか？	既設構造物の一部はつり、設備基礎の新設等、機械・電気設備の設置に必要な工事は含まれます。また、土木・建築物の今回荷重による構造チェックも含まれます。	
2	対象施設及び対象業務	2	1	2	4	(1)	土木・建築工事が含まない場合、既設構造物の強度・耐震等はどのように考えればよろしいでしょうか？	強度確認及び強度増強に関する検討及び工事(必要な場合)は含まれますが、耐震補強は対象外です。	
3	対象施設	2	1	2	4	(1)	「p.10 施設の規模等」には送風機設備の記載がありますが、「p.2 1.2.4(1)対象施設には送風機の記載がありません。どちらを正と考えたらよろしいでしょうか。」	送風機設備は対象とします。	
4	対象施設及び対象業務	2	1	2	4		更新対象水処理電気設備とは、反応タンク設備・最終沈殿池設備・送風機設備・消毒設備と考えますかよろしいですか。	詳細は、入札説明書等でお示します。	
5	対象施設及び対象業務	2	1	2	4		照明設備とは、今回の更新範囲である管理棟中央制御室・主ポンプ棟1F電気室・主ポンプ棟ブロー室・沈砂池ポンプ棟1Fの屋内照明と考えますかよろしいですか。	照明設備の対象範囲は、水処理設備の屋外外灯設備とします。	
6	対象施設及び対象業務	2	1	2	4		受変電設備について、既設を運用しながらの更新にあたり、受電を2回線引き込むことは可能ですか。(提案時に重要なポイントとなりますのでご回答をお願いします。)	新旧設備の切替時における2回線受電(本線、仮設線)は可能です。	
7	対象施設	2	1	2	4	(1)	最初沈殿池は機械、電気設備とも改築更新の対象外と考えて宜しいでしょうか。	詳細は、入札説明書等でお示します。	
8	対象施設	16					P16の「対象設備位置図」において、枠に囲まれていない既設設備(例・返送汚泥ポンプ設備、用水ポンプ設備(循環水設備)、最初沈殿池の計装設備)は改築更新の対象外と考えてよろしいでしょうか。	P16は概略図です。詳細は入札説明書等でお示します。	
9	返送汚泥ポンプ	16					北部処理場の対象施設図面で返送汚泥ポンプ設備が範囲に含まれておりませんが、更新対象外と考えて宜しいでしょうか。	返送汚泥ポンプ設備も対象とします。	
10	沈砂ポンプ棟	16					北部処理場の対象施設図面で沈砂ポンプ棟が対象施設に含まれておりますが、どのような設備が今回の対象設備となりますか。	受変電、自家発及び水処理電気設備等を想定していますが、具体的な対象設備はご提案によります。	
11	予定価格	4	2	1			入札説明書において、予定価格は公表になると理解してよいでしょうか。	お見込みのとおりです。	
12	応募者の構成等	4	2	2	1		「やむを得ない事情があると本市が認めた場合」とありますが、やむを得ない事情とはどういった場面を考えておられるのかご教示ください。(p6 2.2.2(3) にも同様の記載がありますので同様に教示頂きたいをお願いします。)	詳細は、入札説明書等でお示します。	
13	配置技術者	4	2	2	1		機械・電気企業のグループで応募し、プラント設備企業(電気)が代表企業となる場合、建設業務に関して監理技術者(電気のみ)を配置すれば宜しいでしょうか。	No.15の質問回答をご参照下さい。	
14	事業者参加資格に関する事項と建設を実施する企業について	4	2	2	1		「応募者は単独企業又は複数の企業等により構成されるグループとする。また、建設に関する要件のAに、プラント設備企業(機械)は、国内の終末処理場において概ね8,000m ³ /日最大以上の下水処理能力を有する水処理施設実績を有すること。」と記載されていますが、プラント設備企業(電気)が単独企業での応募を希望する場合、上記電気設備の納入実績で参加資格要件を満たすと考えて宜しいでしょうか。	機械設備に関する納入実績を求めていますので、電気設備の納入実績では参加資格要件を満たすことができません。	
		6	2	2	2				
15	各業務における入札参加資格要件	5	2	2	2	(2)	設計に関する要件のうち「業務の実施期間中」とは平成21年4月から現地着工まで(すなわち工場製作期間)と解釈しますがよろしいですか。その場合は建設業法上の監理技術者運用マニュアルに記載のとおり、専任は要しない事でよろしいですか。また、現場に常駐しない事でよろしいですか。	設計要件で示す業務期間は設計期間を指し、管理技術者は設計業務の管理及び統括を行って頂きます。また、施工期間の監理技術者については、入札説明書等でお示します。	
16	各業務における入札参加資格要件	5	2	2	2	(2)	現場工事期間中の監理技術者については、設計期間に従事するものとは別の技術者でもよろしいですか。その場合は資格要件として水道施設又は機械器具設置及び電気工事の監理技術者の資格を有する者とし、両方の資格を満たしていれば一人でもよろしいですか。	お見込みのとおりです。	
17	設計業務管理技術者の配置	5	2	2	2		機械・電気企業のグループにより応募する場合、設計業務管理技術者は代表企業、構成企業を問わず、構成される企業1社より選出してよいと考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。	
18	各業務における入札参加資格要件	6	2	2	2	(2)	建設に関する要件のうち、アのプラント設備企業の設置実績とは元請実績と考えますかよろしいですか。	お見込みのとおりです。	

実施方針に関する質問回答

No.	質問項目 (タイトル)	対応箇所						内 容	回 答
		頁	章	節	項	(1)、 (2) など	、 など		
19	各業務における入札参加資格要件	6	2	2	2	(2)	建設に関する要件のうち、イのプラント設備企業(電気)については、設置実績等の記載がありませんが、機械と同等の実績をみだしているものと考えますが、よろしいですか。	プラント設備企業(電気)については設置実績は求めません。	
20	各業務における入札参加資格要件	6	2	2	2	(2)	建設に関する要件のうち、アのプラント設備企業の設置実績のうち、概ね8,000m ³ /日最大とは8,000m ³ /日最大以下でも良いということですか。その場合下限は具体的には何m ³ /日最大を示すのでしょうか。	「概ね」を削除し、8,000m ³ /日最大以上とします。	
21	サービスに対する対価の支払い	9	4	5			設計費及び工事費は、各年度の出来高に応じて支払われるという理解でよいでしょうか。	お見込みのとおりです。	
22	施設の立地条件	9	5	1			悪臭規制ありとありますが、本設備規模等の条件には脱臭設備に関する記載がありませんので、脱臭設備の検討及び設置は今回対象外と考えますがよろしいですか。	お見込みのとおりです。	
23	施設の規模等 対象水量	10	5	2			日最大水量(16,600m ³ /日)と平成19年度日平均水量(5,200m ³ /日)に大きな差がありますが、今後の伸びの見込みについて開示ください。(水量の幅が大き過ぎるため、対応が難しい可能性があるため) また現状5200m ³ /日程度の場合、1池のみ運転し、残り1池は休止させる等の運転も考慮した設計をすべきと考えますがいかがでしょうか。	今後約10年間の面整備により、14,000m ³ /日程度に増加すると見込んでいます。また、雨天時には合流区域の汚水の一部を処理しているため、1池を休止することはできません。なお、工事期間中は、期限を設けて1池を休止して整備することになります。	
24	施設の規模等 流入水質・放流水質	10	5	2			この水質に対する現状値及びその変動幅を開示下さい。 また年報に記載の月毎の水量に対する月毎の水質値(実績値)を提示願います。 (初沈流出水の水質も併せてご提示頂きたいをお願いします。)	詳細は、資料閲覧により確認して下さい。	
25	施設の規模等 反応タンク設備	10	5	2			「可能な範囲で、バルキング抑制、窒素及びリンの除去が可能なるように」とありますが、設備の主体を標準活性汚泥法から変更する(例、嫌気専用槽の設置等)事は、事業者側の判断(提案)によるものと理解してよろしいでしょうか。	既設水処理方式は標準活性汚泥法であり、今回も標準活性汚泥法を基本としますが、運転方法により窒素・リンが除去できる方法の提案を受け付ける予定としています。また、標準法以外の水処理方法について、高度処理の導入が目的ではなく、最近の技術動向を考慮した処理法(例：膜分離等)の提案によりコスト縮減が図れる場合は、提案として受け付けます。	
26	施設の規模等 反応タンク設備	10	5	2			「二次処理水を流入水に混合する流入水希釈法を採用している」とありますが、その目的についてご提示願います。 (一般に、希釈は沈殿池の水面積負荷が増えるため不利になりますが、それにもかかわらず採用せざるを得ない理由をご提示願います。)	No.33の質問回答をご参照下さい。	
27	施設の整備要件	10	5	2			砂ろ過における必要水量(瞬時、1回当たり、日水量)、用途先等およびろ過水以外の同様な用水計画については要求水準書で示されるとの理解でよろしいでしょうか。	詳細は、入札説明書等でお示します。	
28	施設の規模等 配管設備	10	5	2			「返送汚泥量及び反応槽空気量の把握が可能な設備とする」とありますが、モニタリング(計測・指示)可能とし、特に制御までは考慮しないとの理解でよろしいでしょうか。	把握及び制御は必要ですが、制御方法については提案によります。	
29	施設の規模等 配管設備	10	5	2			既設埋設配管については図面があり、事前調査可能と考えますがいかがでしょうか。 (図面が無い場合、事前調査のために場内道路等を全面掘削する必要がありますので費用等別途ご検討頂きたいをお願いします。あるいは既設埋設配管の撤去は除外とする等ご検討頂きたいをお願いします。)	閲覧資料にてご確認ください。また、支障がない範囲にて、既設埋設管の撤去を除外して結構です。	
30	対象施設等の立地並びに規模及び配置に関する事項	10	5	2			電気設備のうち(1)自家発電設備について、送泥ポンプ設備はふくまれますか。その場合、送泥ポンプの運用状況をご提示願います。	詳細は、入札説明書等でお示します。	
31	対象施設等の立地並びに規模及び配置に関する事項	10	5	2			電気設備のうち(2)中央監視設備 新設するCRTの範囲について既設の場外設備の監視項目は含まれますか。	場外ポンプ設備として、浜田町ポンプ場及び明治ポンプ場の監視を含みます。	
32	対象施設等の立地並びに規模及び配置に関する事項	10	5	2			電気設備のうち(2)中央監視設備 南部浄化センターでの監視及び操作を考慮したシステム構成とは、ロケーションが南部浄化センターであり、既設の南部浄化センターの監視システムとは独立のシステムと考えますがよろしいですか。	お見込みのとおりです。	

実施方針に関する質問回答

No.	質問項目 (タイトル)	対応箇所						内 容	回 答
		頁	章	節	項	(1)、 (2) など	、 など		
33	循環設備(希釈法)	10	5	2				反応タンク設備の欄で二次処理水を流入水の希釈水として使用とありますが、前回の大牟田市北部浄化センター改築更新アンケート調査の際にごさしました循環設備と考えて宜しいでしょうか。今回、更新対象となった場合、目的と必要水量をご提示願えますか。また、その循環水量は水処理設備の処理水量として日最大量に加算しますか。	前段については、現地設備のとおりです。中段については、流入汚水中の還元型硫黄を酸化し、糸状性細菌の増殖を防ぎ、併せて流入汚水の嫌気状態の緩和を目的としています。必要水量は200m3/hと考えています。後段については、循環水量は、対象設備の処理水量として加算しますが、流入水の日最大汚水量としては加算しません。
34	送風機設備	10	5	2				送風機の更新は現況と同じ送風機室と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
35	砂ろ過設備	10	5	2				砂ろ過設備については、現況では污泥処理を行っていないため現況設備より少ない処理水能力となると思われますが、どの程度の必要量となりますか。	詳細は、入札説明書等でお示します。
36	消毒設備	10	5	2				アンケート調査の際にごさしました放流管手動ゲートは、放流を止められないため更新が難しいと思われますが、今回の更新でも設置が必要となりますか。ゲートの使用方法についてご教示ください。	対象範囲に含まれません。
37	防食塗装	10	5	2				今回の更新対象となる水処理設備についての防食塗装は工事範囲に含まれますか。	基本的には不要と考えていますが、必要と判断される部分があれば提案して下さい。
38	耐震工事	10	5	2				今回の更新対象となる施設についての耐震補強等は、本工事範囲外として考えて宜しいでしょうか。また、耐震補強を今後行う予定があり、機械設備の設置で考慮(設置位置や壁厚等)する必要がありますか。	No.1及び2の質問回答をご参照ください。
39	中央監視設備	10	5	2	(2)			南部浄化センターでの監視操作は今回範囲と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
40	施設の整備要件	11	5	4				今回は機械・電気設備が対象であり、土木設備工事は対象外との理解でよいでしょうか。また、既存土木設備に強度上の問題、劣化等がある場合は、別途工事にてご対応頂けるものと考えます。また上記別途工事に起因する工事完成の遅延リスクは本市側の負担との理解でよいでしょうか。	No.1及び2の質問回答をご参照ください。
41	募集の中止等	11	8	2				民間事業者の持つノウハウや創意工夫が期待でき、また市の財政負担額の縮減が見込める場合は、応募企業(グループ)が1社(1グループ)でも募集・入札は執行されるとの理解でよいでしょうか。	お見込みのとおりです。
42	環境への配慮	12	11					騒音、振動ほか環境保全について特別に留意することがありましたらご提示願います。尚、交通安全について、通常常時立哨は含まないとの理解でよろしいでしょうか。	前段については、工事期間中、稼働後の運転時において振動・騒音の規制値を満足することが前提です。後段についてはお見込みのとおりです。
43	リスク分担保 法令変更リスク	13						本工事のみならず広く一般的に適用される法令の変更は事業者負担とありますが、予期不可能な法令変更も含むとなると事業者のリスクが過大となる為、官民両者の負担としていただき、法令変更の内容によって両者で協議する、と変更いただけませんか。	両者による負担に訂正し、負担割合は変更の内容により協議するものとします。
44	リスク分担保 住民対策	13						事業者が実施する業務に関する住民対策は事業者負担とありますが、住民との交渉や協議は事業者だけでは解決困難である為、事業者を主負担、本市を従負担と変更いただけませんか。	工事に対する住民対応は基本的に事業者負担とし、市は解決に向け協力するものとします。よって、事業者を主負担、本市を従負担と訂正します。
45	リスク分担保 物価変動	13						契約期間中の物価変動リスクは事業者負担とありますが、近年鋼材等に価格上昇率が大きい事、及び国土交通省よりも通達がある(スライド条項)ことから、負担者を本市側に変更いただけませんか。	詳細は、入札説明書等でお示します。
46	リスク分担保 施設瑕疵	13						瑕疵担保期間は、通常1年と考えますが、よろしいでしょうか。	詳細は、入札説明書等でお示します。

実施方針に関する質問回答

No.	質問項目 (タイトル)	対応箇所						内 容	回 答
		頁	章	節	項	(1)、 (2) など	、 など		
47	リスク分担保表 注1)	13						「不可抗力による事業者の損害額が、設計及び建設費の100分の1に至るまで」とありますが、不可抗力にも関わらず100分の1の損害額は事業者のリスクが過大となりますので、再考いただけますようお願い致します。 100分の1の設定根拠をご明示いただけませんか。	100分の1の設定根拠は本市の工事請負契約約款によるもので、この分担保範囲を変更する予定はありません。
48	構造物の荷重	13						沈砂池ポンプ棟、主ポンプ棟、管理棟建屋内および、曝気槽、最終沈殿池の荷重につき制約条件をご教示願います。 また、既存建築物に対する耐荷重、耐震の保証は貴市のリスク負担と考えて宜しいでしょうか。	前段については、No.1、2及び閲覧資料を参考にしてください。後段については、お見込のとおりです。
49	環境への負荷	13						アスベストなどの環境に影響を与える負荷は存在しないと考えるべきでしょうか。 また、工事中に新たに発見された場合のリスク分担保は貴市の負担と考えて宜しいでしょうか。	お見込のとおりです。
50	停電時間の確認	-	-	-	-	-	-	晴天時における浄化センター設備全体の最大停電可能時間と停電間隔につきご教示願います。 例：09:00～17:00 毎日可能	仮設発電で対応できる場合は、約8時間です。また、全面停止は、1回当たり8時間とし、月2回までとします。
51	施設休止期間の確認 (最初沈殿池)	-	-	-	-	-	-	2 / 4池の連続休止期間をご教示願います。	2～3ヶ月間停止可能です。
52	施設休止期間の確認 (曝気槽)	-	-	-	-	-	-	1 / 2池の連続休止期間をご教示願います。	2～3ヶ月間停止可能です。
53	施設休止期間の確認 (最終沈殿池)	-	-	-	-	-	-	第一、第二最終沈殿池、片系列毎の連続休止期間をご教示願います。	2～3ヶ月間停止可能です。
54	更新場所	-	-	-	-	-	-	沈砂池ポンプ棟、主ポンプ棟に更新する機器(機械、電気)を設置して良いと考えるべきでしょうか。	詳細は、入札説明書等でお示しします。
55	更新工事範囲(1) (撤去工事)	-	-	-	-	-	-	更新工事に伴い、不要となる既設機器については、今回工事の撤去範囲内でしょうか。	基本的には、更新工事に伴い不要となる既設機器は撤去対象とします。やむをえず撤去が不可能な既設機器は残置となりますが、施設稼働の妨げとならないように配慮をお願いします。
56	更新工事範囲(2) (撤去工事)	-	-	-	-	-	-	更新工事に伴い、不要となる、配管・ケーブル等については、今回工事の撤去範囲内でしょうか。 既設ケーブルについては、撤去不可能の可能性が有ります。	No.55の質問回答と同様の考え方とします。
57	その他	-	-	-	-	-	-	今回水処理は2系列あるため、1系列は施工期間中停止できるものと考えます。工事中の処理水質については保証範囲外と考えますがよろしいでしょうか。	保証範囲とします。
58	その他	-	-	-	-	-	-	仮設配管設備を設置する必要がある為、反応槽から終沈までの混合液水量(希釈水量を含む)および放流量について、工事条件として仮設必要水量をご提示ください。	仮設必要水量は、日最大汚水量の2分の1(8,300m ³ /日)とします。
59	その他	-	-	-	-	-	-	地下水位を開示下さい。(掘削工事検討のため)	地下水位は、T.P1.00m程度です。
60	その他	-	-	-	-	-	-	第一終沈の汚泥溜まりから既設排泥ゲートまでの排泥管口径と既設排泥ゲートの構造(テレスコプ?)の詳細を開示ください。	閲覧資料にて御確認ください。
61	その他	-	-	-	-	-	-	既設第二終沈から排泥ピットまでの導泥管の詳細(口径、材質、埋設深さ、管末端の処理)を開示ください。	閲覧資料にて御確認ください。
62	その他	-	-	-	-	-	-	放流ゲート更新時に、放流先から放流ピットに逆流することはないとの理解でよいでしょうか。 また上記が懸念される場合、放流先での止水は可能でしょうか。その要否、方法についてご提示ください。	No.36の質問回答をご参照ください。
63	その他	-	-	-	-	-	-	既設場内排水管と処理水戻し配管は既設設備をそのまま使用できるとの理解でよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
64	その他	-	-	-	-	-	-	工事中の場内再利用水の一時代替用として上水を考えていますが、瞬時流量は最大どれだけ供給可能でしょうか。ご提示ください。この場合の上水は客先殿支給と考えて良いでしょうか。	給水栓口径は50mm(200リットル/分以上)です。後段はお見込のとおりです。